

商品名 ゾピクロン錠7.5mg「トーフ」 医薬品基本情報

薬効	1129 その他の催眠鎮静剤, 抗不安剤	一般名	ゾピクロン7.5mg錠
英名	Zopiclone TOWA	剤型	錠
薬価	6.70	規格	7.5mg 1錠
メーカー	東和薬品	毒劇区分	(向)

ゾピクロン錠7.5mg「トーフ」の効能・効果

不眠症、麻酔前投薬

ゾピクロン錠7.5mg「トーフ」の使用制限等

1. 類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、重症筋無力症、急性閉塞隅角緑内障、本剤成分又は含有成分で睡眠随伴症状として異常行動の既往歴、本剤成分又は含有成分で夢遊症状として異常行動の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 気管支喘息、呼吸機能が高度に低下、脳血管障害の急性期、肺気腫、肺性心	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	原則禁止
3. 肝障害	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
4. 心障害、脳器質的障害、腎機能障害、肝機能障害、投与した薬剤が特定されないままにフルマゼニルを投与された	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ゾピクロン錠7.5mg「トーフ」の副作用等

1. 薬物依存、振戦、痙攣発作、不眠、離脱症状、呼吸抑制、炭酸ガスナルコーシス、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、 γ -GTP上昇、肝機能障害、黄疸、精神症状、意識障害、幻覚、せん妄、錯乱、悪夢、易刺激性、攻撃性、異常行動、一過性前向き健忘、睡眠随伴症状、夢遊症状、アナフィラキシー、蕁麻疹、血管浮腫	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. もうろう状態	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
3. 口中のがみ	記載場所	その他の副作用

4. 錯感覚、BUN上昇、血小板減少、消化不良、過敏症、そう痒症、転倒	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
5. ふらつき、眠気、頭重、頭痛、不快感、めまい、ALT上昇、AST上昇、Al-P上昇、蛋白尿、白血球減少、ヘモグロビン減少、赤血球減少、口渇、嘔気、食欲不振、口内不快感、胃部不快感、発疹、だるさ、倦怠感	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. 脱力感、筋緊張低下症状	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
7. もうろう状態、睡眠随伴症状、夢遊症状、炭酸ガスナルコーシス、血圧低下、呼吸抑制、痙攣、振戦、易刺激性、哺乳困難、離脱症状、新生児仮死、嗜眠、運動失調、傾眠、錯乱、失調、筋緊張低下、メトヘモグロビン血症、呼吸機能低下、昏睡、致死的、致死的経過、作用が変化、作用が遅延、皮下腫瘍、肺腫瘍、甲状腺腫瘍、乳腺腫瘍	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

ゾピクロン錠7.5mg「トーフ」の相互作用

1. 薬剤名等：筋弛緩薬	発現事象	作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	相加的に抗痙攣作用、中枢神経抑制作用が増強	指示	希望禁止
2. 薬剤名等：中枢神経抑制剤	発現事象	作用が増強	投与条件	-
	理由・原因	相加的に抗痙攣作用、中枢神経抑制作用が増強	指示	希望禁止
3. 薬剤名等：麻酔	発現事象	呼吸抑制	投与条件	-
	理由・原因	麻酔により相加的に呼吸が抑制	指示	慎重投与
4. 薬剤名等：アルコール	発現事象	相互に作用を増強	投与条件	-
	理由・原因	飲酒により中枢神経抑制作用が増強	指示	注意
5. 薬剤名等：飲酒	発現事象	相互に作用を増強	投与条件	-
	理由・原因	飲酒により中枢神経抑制作用が増強	指示	注意
6. 薬剤名等：薬物代謝酵素CYP3A4を誘導する薬剤				

発現事象 本剤の作用を減弱

投与条件 -

理由・原因 これらの薬剤の肝代謝酵素誘導作用により、本剤の代謝が促進

指示 注意

7. 薬剤名等：薬物代謝酵素CYP3A4を阻害する薬剤

発現事象 本剤の作用を増強

投与条件 -

理由・原因 これらの薬剤の肝代謝酵素阻害作用により、本剤の代謝が阻害され、本剤の血漿中濃度が増加

指示 注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.